

大崎町地域計画協議内容

地域名	持留地域・假宿水利地区 岡別府水利地区	協議回数	第1回目
協議日	令和6年8月23日	場所	大崎町中央公民館
参加者	持留地域・假宿水利地区・岡別府水利地区の農家他 2名		
関係機関	大崎町（農林振興課・農業委員会） 曾於畑地かんがい農業推進センター 農業普及課		
協 議 内 容			
<p>町の職員より地域計画の概要について説明。その後、地域の現状を説明し、地域における農業の将来の在り方などについて各課題の協議を行う。協議結果については公表資料のとおり。</p> <p>次に地図を見ながら農地の利用状況について確認し、目標地図の作成を行う。持留地域・假宿水利地区・岡別府水利地区においては延べ25名の担い手農業者がいるが、そのうち延べ5名が10年以内に離農を考えているとの意向調査結果がでている。それに加え、現在は自作の方で今後は誰かに作ってもらいたいという意向の方が数名いらっしゃるため、今後空いてくる農地を今後は誰が作っていくかの協議を行うが、土地の所有者の意向・次期耕作者の意向もあるため、本日来ているメンバーだけでは次の耕作者は決め難い。目標地図の耕作者が設定できない農地については一旦保留とし、今後、本地域で規模拡大を考えてる担い手農家等を中心に、目標地図を見ながら耕作面積の拡大について検討する材料とするということとした。</p> <p>また、参加者から假宿水利地区において、排水対策の必要性や水利組合員の高齢化等により、圃場や畔、水路等の維持管理が難しくなっているという意見があった。</p> <p>さらに、それらの課題解決には圃場整備の必要性や農地の貸し手、借り手の双方が協力しないと集積化は難しいのではないかとの意見が出た。</p> <p>その後、本日の内容をホームページ等で公表する旨を説明し、協議を終了する。</p>			